
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」第119号(2022. 12.20)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第119号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、①植栽活動で通行する方々の心を和ませるとともに、細かく役割分担を定めることで組織運営や事務作業に多くの会員に参画してもらい、負担軽減と後継者確保に取り組む組織、②環境学習や農作業体験で教育機関と連携するとともに、繁忙期の草刈りについて定年退職者で構成する「草刈隊」がバックアップする体制を構築している組織について紹介します。活動組織の代表者へのインタビューでは、豪雨災害により床上浸水を経験したことから田んぼダムに取り組み、河川上流地域にも取組を促すとともに、農業の後継者育成にも力をいれている事例について紹介します。また、活動組織の広報誌紹介では、多面の活動を身近に感じてもらうため、SNSを活用して写真付きで紹介するなど、多くの方に活動を知ってもらえるよう努めている事例についてご紹介します。事務局からは多面的機能支払イベントカレンダーと全国土地改良事業団体連合会主催のシンポジウム等についてお知らせいたします。

第119号の目次

1. 活動組織の紹介

☆^{かみにしね}上西根・^{はちちょう}八丁野^の環境保全の会 (岩手県^{しずくいしちょう}雫石町) ☆

☆松永^{おぼまし}あんじょうしょう会 (福井県小浜市) ☆

2. 活動組織の代表者へのインタビュー

☆^{せいかん}清菅SHK クラブ (三重県^{まつさかししみずちょう}松阪市清水町) ☆

3. 活動組織の広報誌紹介 ~^{たき}多気^{いろどり}の彩土里会 (三重県^{たきちょう}多気町) ~

4. 令和4年度 12月・1月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました!

5. 「農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム」及び「多面的機能支払活動の効率化・効果的転回に向けた全国研修会」開催のご案内 (編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)～^{かみにしね}上西根・^{はっちょうの}八丁野環境保全の会（^{しづくいしちょう}岩手県雫石町）～■

～地区概要～

本活動組織は岩手県の西部に位置する雫石町の北部で活動しており、活動範囲は、田 119ha、水路 22.1km、農道 8.0km となっている。



農用地周りの草刈作業

～主な取組～

◎活動組織が自治会と連携し、定期的に農用地の草刈りや水路の泥上げを実施しているほか、農業用施設の点検、機能診断による劣化状況に応じて補修を行っており、軽微な補修については、直営施工を行っています。



施設の見回り点検

◎地域住民や団体との共同作業により、景観形成として、毎年植栽活動を実施しています。春から秋にかけて、多くの花が咲き誇り、通行する方々の心を和ませています。



植栽活動

◎長年地元の祭りをサポートしており、農村文化の伝承と地域コミュニティの強化、世代間の交流に大きな役割を果たしています。

◎組織運営や事務作業に対し、組織内で細かく役割分担を定めて多くの会員が参画しながら進めることで、事務負担の軽減、活動組織の担い手育成にも積極的に取り組んでいます。



どんとこ祭り

【上西根・八丁野環境保全の会 代表 松本光正】

■1. 活動組織の活動紹介(2) ～松永あんじょうしょう会(福井県おぼまし小浜市)～ ■

～ 地区概要 ～

本組織は福井県小浜市東部に位置し、平成29年に一般社団法人化している。9集落と土地改良区、営農法人等が連携し活動しており、若狭おぼま農地環境保全広域協定に参加する活動組織である。

活動範囲は、田 150ha、開水路 7.5km、パイプライン 18.7km、農道 14.9 km となっている。

～ 主な取組 ～

- ◎ 水路や農道等の保全活動は、集落周りは各集落が、それ以外は営農組織で実施する役割としており、営農繁忙期には、営農組織内の定年退職者で構成する「草刈隊」がバックアップする体制をとっています。
- ◎ 希少種やホタルが生息する地域内を縦断する松永川で自然環境に触れる場として、小学校と連携し、営農組織の若手就農者が里山がっこう楽校として環境学習会を開催しており、動植物の保全に取り組んでいます。
- ◎ また、園児や小学生の農業体験の場として伝統的農法により田植えや稲刈り、ふれあい農園でのサツマイモの苗付け、芋掘り、田んぼアートなどを若手就農者や各種団体が連携して行っています。教育現場からも喜ばれており、秋には感謝祭が行われています。
- ◎ 今後も、地域の農業や自然環境を良好な状態で次世代に繋げるために、一般社団法人、土地改良区、営農組織は三位一体となった地域運営体制の強化と、活動の質的向上を図っていきたいと思っています。

【松永あんじょうしょう会 会長 西田尚夫】



草刈隊



水路での生きもの調査



伝統的農法による田植え



サツマイモ掘り

■2. 活動組織の代表者へのインタビュー～^{せいこん}清管SHクラブ(三重県松阪市清水町)～^{まつさかししみずちょう}

組織の概要

活動範囲：田 53.15ha、畑 4.92ha
対象施設：水路 10.3km 農道 4.3km
活動開始時期：平成 29 年度



代表の安達正昭さん

※写真撮影時のみマスクを外しています

～インタビュー～

Q：組織の立ち上げについて教えてください。

A：15年ほど前に^{くしだ}櫛田、^{しみず}清水、^{すきゅう}菅生地区の3地区でSHKクラブとして活動をしていました。5年間ほど活動をしたときに櫛田地区は独立し、清水地区と清菅地区の2地区で活動を行うこととなったため、清水地区の「清」と菅生地区の「菅」を使い、現在の「清管 SHKクラブ」となりました。

Q：組織名の「SHK」とはどのような意味ですか？

A：SHKクラブとは、「精魂の郷（せいこんのさと）保全・管理クラブ」という意味です。平成14年度に竣工した県営ほ場整備事業で、大区画ほ場整備を実施しており、櫛田土地改良区が設置した記念碑に「精魂の郷」と刻まれたことから組織名として使用いたしました。

Q：組織を運営する中で苦労したことを教えてください。

A：以前、営農組合長を20数年やっており、ほ場整備を実施したときに、120町歩（約120ha）で3人のオペレーター（担い手）を選出しましたが、整備していただいたほ場をどう守っていくのか苦慮しました。みんなで草刈を実施したり、ツツジを植えることで美観を形成したりしていますが、このような活動



活動のPR看板



対応いただいた清管 SHK クラブの
役員のみなさま

※写真撮影時のみマスクを外しています

は組織のメンバーだけで実施するのではなく、非農家、老人会、子供会の方々が一緒に
なり、地域でタイアップ(協力)して今後も続けていかないと長続きしないと思います。

Q：代表として心がけている事を教えてください。

A：毎月1回、清水地区と菅生地区の役員会に出席し、役員の話を書くようにしています。
会社に勤務しているときから実行していることですが、みなさんの話を聞きたいので、
一言は話をしてもらおうようにしています。意見に
困っているときはこちらから話をします。



田んぼダム取組状況の様子

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容を教えてください。

A：榑田営農組合は2年3作で米、麦、大豆を隔年で約
50%の転作を実施しています。本年は「田んぼ
ダム」を26.58haの水田で実施していますが、
当地区のような下流地域で実施するだけでなく、
上流地域の皆様に理解してもらい、「田んぼ
ダム」を広めていきたいです。

Q：どのタイミングで「田んぼダム」を知ったのですか？

A：以前参加した多面的機能支払交付金の集いで「田んぼダム」の話を聞きました。その時
は、あまり関心はありませんでしたが、菅生地区で床上浸水が発生し、集いで話のあつ
た「田んぼダム」のことを思い出し、実施することとしました。

Q：「田んぼダム」を実施するうえで苦労したことはありますか？

A：ほ場整備で設置された排水柵は同じ大きさなので、基本的には使用する堰板は同じ大
きさでよいのですが、トラクターの接触等で排水柵を壊してしまい、個人で更新した場
合、同じ大きさの堰板を使用できなく、自分で堰板を切って大きさを調整しないとけ
ないことです。

Q：「田んぼダム」を広めるためにはどうしたらよいと思いますか？

A：「田んぼダム」は広域で行うことが大切で、下流地域だけで実施しても効果は薄いと思
います。上流地域にも「田んぼダム」の話を広めていくことや行政側からも声かけをし
ていくことが大切だと思います。みんなの心がけで浸水被害を防げることもあるとい
うことを訴えながら勧めていきたいです。一人だけでなく、みんなの力を結集して物事

に取り組むことが大切だと思います。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：地域の農地全体を守り、育てていきたいです。また、農地はオペレーターに集約されており、オペレーターを補助し、育てていく必要があります。そして、地域の融和と活性化のため、地域で話し合っていきたいです。

【原稿作成者：東海農政局農村振興部農地整備課】

■3. 活動組織の広報誌紹介 ～多気^{たき}の彩土里^{いろどり}会（三重県^{たきちょう}多気町）～■

広報誌 「多気^{たき}の彩土里^{いろどり}会^{たいり}たより」の概要

- ◇多気^{たき}の彩土里^{いろどり}会^{たいり}では、活動している方や地域住民の方々に活動内容や事業の趣旨を理解していただくために、年に1回、広報誌「多気^{たき}の彩土里^{いろどり}会^{たいり}たより」を活動している地域の全戸に紙媒体で配布しています。
- ◇広報誌には、一年間に行った活動について、活動に参加している様々な人や活動の様子を写真で紹介することで、沢山^{たくやま}の方の手でこの地域の資源や環境を守っていることが伝わるように工夫しています。
- ◇広報誌を作成するにあたっては、彩土里^{いろどり}会の活動をより身近に感じてもらえるよう、活動が一部の限られた人だけでなく、より多くの地域の方々に参加してもらいたいという思いを込めています。

～ 工夫しているポイント ～

★ポイント1★：活動エリア内の全集落の活動を写真で紹介！

令和元年に広域活動組織として活動を開始してから1年足らずでコロナ禍となり、彩土里^{いろどり}会の活動を知らせてもらう機会が少なくなったことから、活動エリア内の全集落の活動を写真で紹介することで、より身近な活動であることを知ってもらえるように工夫しています。

★ポイント2★：農業に直接関りのない地域住民の方にも親しみやすい活動内容も写真で紹介！

荒廃農地の発生防止と有効活用のため、植栽や地域の学校との連携などの活動についても紹介し、親しみやすい内容にすることで、より沢山^{たくやま}の地域の方に気軽に活動に参加してもらえるように工夫しています。

★ポイント3★：活動組織で運営している「インスタグラム」を紹介！

景観形成活動の作業風景や季節の農村風景などの写真を掲載している「インスタグラム」についても広報誌で紹介しています。「インスタグラム」ではより多くの方に活動を知ってもらえるよう、活動で育まれた農村風景を楽しんでもらえるように工夫しています。

★ポイント4★：広報誌と併せて「イロドリ通信」を配布！

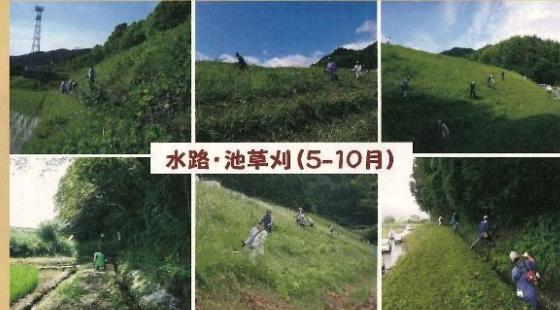
植栽などの景観形成活動を特集した「イロドリ通信」（春と秋の年2回配布）を広報誌（年1回配布）と併せて配布を行い、地域住民の方も親しみやすくなるよう工夫しています。

多面的機能支払交付金制度を活用した、津田地区を中心とする「多気^{いろどり}の彩土里会」R3年度の活動の一部を紹介します。

農地維持支払



水路・水槽の掃除(4月)



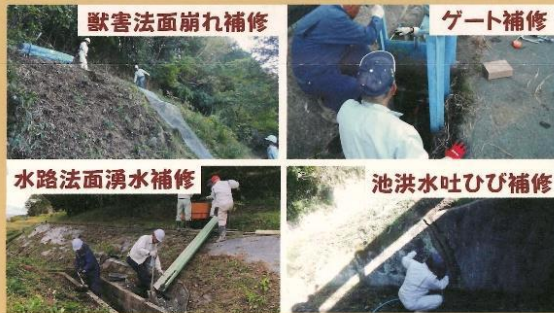
水路・池草刈(5-10月)

作業風景

各地区例年と同じように田植えの前には樋堀(泥上げ)水槽の掃除、春～夏にかけては草刈(水路・農道・ため池)が行われました。

他にも地区によっては、ゲート保守管理(注油や再塗装)、農道の路面維持、池の泥吐け掃除、獣害柵の整備、水利施設の点検作業(住民や業者)も行われました。

資源向上支払(軽微な補修)



獣害法面崩れ補修

作業風景

ゲート補修

水路法面湧水補修

池洪水吐ひび補修



池掃除(10月)

農道側溝掃除(11月)

ゲートの整備(2月)

獣害柵の整備(3月)

各団体から申請のあった補修箇所の内、軽微なものは10箇所あり、早急に復旧が必要な補修などは専門業者へ依頼しましたが、その他は直営補修として申請地区の方と作業隊により補修を実施しました。

自分達で補修・更新した施設は今まで以上に愛着がわきますね。現在作業隊には17名の方が登録されています。大変な作業も多いですが、地元のためにと和気あいあいと作業されています。今年も秋以降に各地区で作業予定です。

資源向上支払(長寿命化)

老朽化した施設などの補修・改修を直営工事(8箇所)と外注工事(1箇所)で行いました。直営補修は申請地区の方と作業隊も参加し、地域内の力で補修・更新工事を行いました。

作業風景



ゲート改修

水路改修

蓋改修

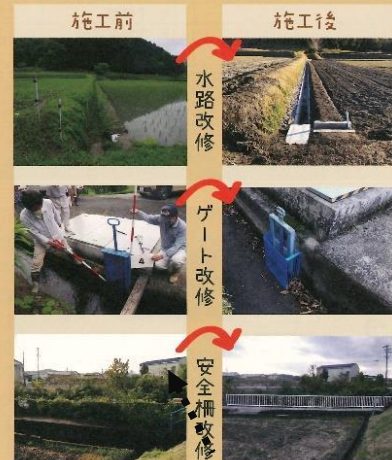
バルブ改修

水路補修

安全柵補修

作業隊員募集してます

完成写真



施工前

施工後

水路改修

ゲート改修

安全柵改修

【ポイント1】 活動エリア内の全集落の活動を写真で紹介

【ポイント2】農業に直接関りがない地域住民の方にも親しみやすい活動内容も写真で紹介

農村環境保全

花畑 (三疋田)
「ヒマワリ油」収穫した種でひまわり油が出来ました。作業参加された方などにお配りしました。
「ひまわり」7月下旬～8月中旬頃が見頃です。
秋は「コスモス」

はす池 (北牧)
7月上旬～7月下旬が見頃です。
つぼみも雰囲気があります。
冬場の枯葉掃除が大切

花しょうぶの会が加入しました。
相可地区天宮池近くの沼田で、ボランティアで菖蒲などの花畑を10年前から活動してみえます。
一緒に活動して頂ける方を募集中！との事です。

ひまわり油絞り体験
ひまわり油アツクめで搾り体験して頂きました。
小学校の農業体験学習

田植え **稲刈り** **さつまいも苗植え**

交付金について 交付金は地区内の、保管理されている農振農用地の面積に対して支払われています。

交付金1年間の単価 (1,000㎡≒1反あたり) ※交付金は満額が交付されない年もあります。

① 農地維持支払	② 資源向上支払 (共同)	③ 資源向上支払 (長寿命化)
【田】3,000円 【畑】2,000円	【田】1,800円 【畑】1,080円	【田】4,400円 【畑】2,000円

令和2年度 収支報告

収入 (円)	支出 (円)
1. 持越金 3,089,315	1. 日当 5,452,200
2. 交付金 13,214,522	2. 購入・リース 6,304,315
3. 利子等	3. 外注費
	4. その他
	5. 次年度持越
合計	合計

令和3年度 収支計画

収入 (円)	支出 (円)
1. 持越金 1,374,505	1. 日当 5,300,000
2. 交付金 14,892,400	2. 購入・リース 4,400,000
3. 加算措置	3. 外注費
	4. その他
	5. 次年度持越
合計	合計

令和3年7月1日に開催した委員会にて上記内容を確認しました。

インスタやってます。



インスタでは環境保全活動を中心にアップしています。
花の作業風景や生育状況、季節の農村風景など、写真にすると魅力が再確認出来ますね。
花畑で育てるおすすめのお花などありましたら教えてください。
遊休農地の端っこで、お試しで大麦を少し育てました。昔ながらのストローです。



多気郡彩土里会 事務所
(津田土地改良区内)
〒519-2211
多気郡多気町丹生 1620-3
TEL 0598-49-7103
FAX 0598-49-4828
メール tsuda@sand.ocn.ne.jp
※津田土地改良区に当会の事務を委託しています。

令和3年7月発行

【ポイント3】活動組織で運営している「Instagram」を紹介

【ポイント4】地域住民の方にも親しみやすい植栽等の景観形成活動を特集した「イロドリ通信」も併せて配布

花しょうぶの会 相可

湿田を利用した花畑で場所は天啓池のすぐ近くですよ。思ったより広大で小屋や小池もあって素敵です。

5/25の様子



作業している方の声
菖蒲は梅梅の時期だけの花ですが一年中世話をしないと美しい花は咲いてくれません。四季折々の花も育てていますので週2回午前中は畑にいます。一番多い作業は草取りですが、一年中咲かせているのは『おしゃべりの花』です。



睡蓮の咲く
かわいい小池



毎年はどんな文字にしようかな？と考えてみえます。今年の文字は…奥にみえるのは〇〇ちゃんマーク。

牧の蓮池

5/25の様子

葉っぱが大きく
なっています



作業している方の声
北牧地内の溜池を、ハス池として活用し管理しています。春先には枯枝などの除去作業を行ない、花の見頃の7~8月に綺麗な花が咲く様に頑張っていますので見に来て下さい。

多気町の彩土里会
R4.6
遊休農地でお花やさい

イロドリ通信

多面的機能支払交付金を活用

三疋田花畑

ひまわりの種
まきました



一部いただいた種や昨年とった種をまきました。見頃は7月中旬ごろです。



今年はお試しで雑穀のもち粟と地元野菜の伊勢芋も少しですが育てています。伊勢芋は流行りの白マルチです。

作業している方の声
今年も、

きれいなヒマワリが咲いてくれる事を楽しみに、みんなで楽しく種をまきました(へへ)



大麦は6月に収穫します。欲しい方みえたら事務局まで連絡下さい。麦茶やストローなどで使って頂けますよ。

いっしょに作業してくれる参加者お待ちしています



多気町の彩土里会 事務局

【ポイント3】
活動組織で運営している「インスタ」を紹介

■4. 令和4年度12月・1月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！■

多面的機能支払交付金の情報発信として、本交付金に関する各地のイベントの日程などをまとめたイベントカレンダーを作成しました。本交付金についてより深く知りたい方に他組織の活動の様子を参考にさせていただくなど、多くの方に活用していただきたいです！

本メルマガ掲載時より、イベントの情報が更新される可能性があるため、詳細は問合せ先までご確認ください。



月	日	曜	都道府県	イベント名（主催者）	問い合わせ先
12月	22日		兵庫県	ひょうご水土里の豊かなふるさとフォーラム (兵庫県、兵庫県推進協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 兵庫県推進協議会 (078-362-343) ・詳細は協議会HPに掲載
1月	上旬		青森県	活動組織リーダーの集い (青森県推進協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 青森県推進協議会 (017-723-2404) ・詳細は協議会HPやSNSに掲載
2月	1日	水	大分県	大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム (大分県多面的機能支払推進協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 大分県多面的機能支払推進協議会 (097-567-6631) ・大分県多面HPホームページに公開
	4日	土	奈良県	農村振興シンポジウム (奈良県、奈良県多面的機能支払推進協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 奈良県農林部 (0742-27-7453) ・詳細は奈良県農村振興課のHPに掲載
	7日	火	長崎県	活動組織の集い (長崎県農地保全推進協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 長崎県農地保全推進協議会 (095-816-3636) (nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp)
	9日	木	香川県	多面的機能支払中国四国シンポジウムinかがわ (香川県多面的機能発揮促進協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 香川県多面的機能発揮促進協議会 (087-832-7140) (tamen-kagawa@midorinet-kagawa.or.jp)
	上旬		石川県	令和4年度農村振興リーダー研修 (全国農村振興技術連盟)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 全国農村振興技術連盟 (03-3434-5407)
	中旬		鳥取県	令和4年度多面的機能支払研修会 (鳥取県農地・水・環境保全協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 鳥取県農地・水・環境保全協議会 (0857-38-9500) ・詳細はHPに公開予定 http://www.totirengogonet.or.jp/kyogikai/
	中旬		新潟県	多面的機能支払制度研修会	新型コロナウイルスの状況を踏まえて実施の可否を検討
	未定	関東農政局	関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰 表彰式	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 関東農政局 (048-740-0551) 	
3月	14日	火	北陸農政局	北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰 (北陸農政局)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 北陸農政局農地整備課 (076-263-2161)
	中旬		滋賀県	滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会総会 (滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先 滋賀県農村まるごと保全サポートセンター (0749-59-3636)

**■5. 「農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム」及び
「多面的機能支払活動の効率的・効果的展開に向けた全国研修会」
開催のご案内（全国土地改良事業団体連合会）■**

全国土地改良事業団体連合会では、農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた今後の方向性を考える機会とするとともに、多面的機能支払に係る活動や活動に対する理解の促進を図るため、「農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム等」を開催します。ぜひご参加ください。

▽日程▽

第1部：令和5年1月23日（月）13：30～16：30

第2部：令和5年1月24日（火）9：30～12：00

▽開催場所▽

砂防会館別館1階シェーンバッハ（淀、木曾）他
（Web配信も併用）

▽イベント内容▽

第1部 農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム

主な対象者：多面的機能支払の活動組織や、都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者、一般の方等

第2部 多面的機能支払活動の効率的・効果的展開に向けた全国研修会

主な対象者：多面的機能支払の活動組織や、都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者等

▽参加費▽

無料（事前の参加登録が必要です）

▽申込み・問合せ先▽

全国土地改良事業団体連合会 企画研究部内

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4階

TEL：03-3234-5480

FAX：03-3234-5670

E-mail:h_matsuno@inakajin.or.jp

◎イベント詳細（全国水土里ネットホームページよりご確認ください）

<https://www.inakajin.or.jp/>

【全国土地改良事業団体連合会】

■ 編集後記 ■



読者の皆様こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。サッカー日本代表は初のベスト8まであと一步のところまで挑戦が終わってしまい、すごく悔しかったです。さて、12月となり駅にはクリスマスツリーが飾られ、街中がクリスマス気分になってきています。クリスマスが過ぎるとすぐに年末になりますが、みなさんにとって2022年はどのような年だったでしょうか。私は大学生から社会人になる大きな転換点となる年で、まだ周りには迷惑をかけることもあります。大きく成長できた年となりました。新型コロナウイルスの影響はまだありますが、来年は今年より楽しく、良い年になることを祈っております。すこし早いですが、皆様良いお年を！

それでは次号もお楽しみに！



◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：近藤、藤原）
TEL：03-3502-8111（内線 5493）